

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹 平成 25 年度総会議事録

1. 日 時 平成 25 年 7 月 15 日(月) 13 時～14 時
2. 場 所 ガスト仙台榴ヶ岡店
3. 出席者数 15 名(正会員 27 名：出席 3 名・委任状 12 名・欠席 12 名)
4. 配布資料
 - ① 平成 24 年度事業報告書
 - ② 平成 24 年度収支決算報告書
 - ③ 平成 25 年度事業計画案
 - ④ 平成 25 年度収支予算案
5. 審議事項
 - 事案第 1 号 平成 24 年度事業報告及び収支決算報告の承認の件
 - 事案第 2 号 平成 25 年度事業計画及び収支予算の承認の件
 - 事案第 3 号 役員(理事)の追加承認の件
 - 事案第 4 号 本年度の活動と事業について

6. 議事経過の概要及び議決の結果

開会の言葉 進行・副理事長 畑中浩

挨拶 理事長 蛇口昌俊

24 年度は団体にとって 3 つの大きな転機があった

1. 森林保全を定期的実施する活動フィールドが仙台市内に 2 ヶ所（茂庭台緑地・赤坂市有林）確保できた。茂庭台緑地は地域住民の関心も高く毎回住民の参加者がある。
2. ウッドブロックの商品化ができ普及活動を開始した、活動経費を賄う大きな柱になる見込み。南三陸神社復興目的の絵馬・絵馬ストラップ・アニマルカーシリーズ小物入れ等の開発も行っている、25 年度から全国販売を展開したい。薪ストーブ普及継続、さらに新たな木工品の開発～普及も進めたい。
3. 栗原市若柳に「間伐材工房 元樹」をオープンできた。「森林整備（伐採）→集材→製材→加工→製品化」の体制が整った。工房・雇用等で経費もかかり今まで以上に責任は重大だが、工房があることで実現できることが多いので、さらなる飛躍につなげたい。また、情報発信力が弱いので今後改善・強化していきたい。

議長選出

定款に沿って、理事長である蛇口昌俊が議長を努める事を宣し、議長は会員 27 名中、参加者 3 名、委任状提出 12 名にて、正会員の 1/2 を超えており総会成立の要件を満たしていることを出席者に説明し本総会の成立を宣言した。

議事録署名人の選出

議長より、本日の議事の経過を議事録にまとめるに当たり、議事録署名人 2 名を選任したい旨を諮った結果、畑中浩と辻博之の 2 名が満場一致で選任された。

書記の選出 辻博之 が選出された。

審議

事案第1号 平成24年度事業報告及び収支決算報告の承認の件

議長より、平成24年度事業報告・収支決算報告の件につき説明し、逐次審議した結果、原案どおり、異議なく可決された。

事案第2号 平成25年度事業計画及び収支予算の承認の件

議長より、平成25年度事業計画案・収支予算案につき説明し、逐次審議した結果、原案どおり、異議なく可決された。

昨年度の3つの大きな転機を核にして確実に活動を進めたい、追加案件として

- ① 林野庁森林・山村多目的機能発揮対策補助事業
 - ② 「復興木工プロジェクト」・「木の家づくり互助会」
- を見込んでいる

事案第3号 役員(理事)の追加承認の件

議長より、理事を1名増員する件につき説明があり、満場一致で承認された。

新理事 辻博之

事案第4号 今後の活動と事業について

議長より、以下につき、説明がなされ、参加会員各位により意見交換がなされた。

1. 木の家づくりの棟梁が決まる(築館在住の板倉造り経験者)
2. 林野庁 森林・山村多目的機能発揮対策補助事業
現在行っている茂庭台・工房・南三陸の活動をそのまま事業対象として申請できる
団体所在地エリア内の活動に限定されるため、茂庭台緑地の活動は新たに任意団体(名称「仙台杜の元樹塾」)を立ち上げて事業申請を行う
3. 工房活動と収入についての現状報告
 - ・ウッドブロック販売 8月中旬に100セットに達する見込み
 - ・復興絵馬の全国神社ネットワークでの販売はこれから
 - ・絵馬ストラップの販売が見込まれる。絆ショップ、古川販売店、くりこま高原販売店、東京から引き合い(60個)等。今後ノベルティとして企業や記念事業等へアプローチする。
4. 薪ストーブの普及
平成25年度見込み 大手ハウスメーカー、南三陸板倉造りの家、仙台の保育園
さらに普及を進めたい
5. 定例活動日数の増について
林野庁事業を活用するために、定例活動現状3日/月を5日/月程度に増やしていきたい

閉会のことば
畑中副理事長

平成 25 年 7 月 15 日

議長
議事録署名人
議事録署名人

畑 口 昌 俊
畑 中 浩
辻 博 之

